

救急車の不適正利用を防ぐ

我慢せずに早め の受診を

不適正な救急車の利用を防ぐために、実際のどのようなことに注意していけば良いのか、江別市消防署救急課の西澤さんにお話を聞きました。



救急課 救急救命士
にしざわ けんじ
西澤 賢治さん

「最近が高齢者からの救急車の要請が増加しています。転んだけがをしたり、風邪をひいたりしても、お年寄りの方は忍耐強い方が多く、病院に行かずに我慢してしまうケースが多いようです。しかし夜になって痛みなどに耐えられずに救急車を呼んでしまいます。救急車を呼ぶこと自体は悪いことではないのですが、そこまで辛くなってしまう前に医師からの治療を受けてほしいと思います。」

公共交通機関などを うまく使って

「病院に行くために、救急車をタクシー代わりとして使う方もいます。また、救急車で病院へ行くと早く診察してもらえない

と考えている方もいます。最近

は、病院側も患者の症状の程度で順番を見ていくところが増えています。そのため、救急車で病院に向かっても早く診てもらえるとは限りません。本来に救急車を利用したい患者さんのためにも、緊急性がなく自分でもまたは家族の方などの手助けがあれば病院に行ける場合は、自家用車やタクシー、公共交通機関などを利用してください。」

周りのサポートが大 切です

「先ほども少し触れましたが、家族や地域の人々のサポートも重要です。具合が悪そうな人がいたら、周りの人からの声掛け、見守りをしてもらうなどして、症状を悪化させないように気を

つけてください。」

素早く適切な判断を

「市民の方が救急車を呼ぶことをためらっていると、大切な命を守れない可能性もあります。救急車が必要かどうか素早く適切に判断し、必要な場合はすぐに通報してください。」

「早く診察して
くれそうだから」
急増する
コンビニ受診

生命にかかわるような危篤、重症患者への処置や、入院患者の急変に対応できなくなることが心配されています。また、救急の現場では、医師や医療スタッフ数が少ないため、大きな負担増につながり本来の救急医療体制が維持できなくなってしまう事態になりかねません。

コンビニ受診を控え、昼間の診察時間に適切な専門医に診てもらおうことが、救急医療体制を守るにつながります。

コンビニ受診を控える ために

救急外来の医療体制を守るために次のことに気をつけてください。

- 風邪や擦り傷、歯痛など、あきらかに病状が分かる場合の救急外来は控える。
- 日中から症状がある人や、家庭の応急手当で様子を見られるような軽症の人は、昼間の診察時間内に受診する。
- 近所に「かかりつけ医」を持ち、できるだけ昼間の診察時間内での受診や相談をする。

などの日頃の心がけが必要です。地域の皆さん一人ひとりのご理解とご協力をお願いします。

◆◆ 急な病気・怪我！ 緊急時の連絡先 ◆◆

★夜間や休日に受診する病院を探す
北海道救急医療情報案内センター (☎ 0120-20-8699、携帯電話からは☎ 011-221-8699) 24時間年中無休。
江別市消防本部 (☎ 382-5453) 年中無休。

★子どもの急な病気やけがで困った
北海道小児救急電話相談 (☎# 8000 または☎ 232-1599) 毎日 19時～23時。年中無休(保護者などが専任の看護師や医師から、症状に応じた適切な助言が受けられます)。

★夜間、小児科か内科を受診したい
江別市夜間急病センター (☎ 391-0022) 19時～翌朝7時。年中無休。



江別市消防署救命講習会の様子



救命講習

その命を救うのはあなたです

江別市消防署救命講習会

消防署では毎月19日に救命講習を行っています。参加無料。
日時：10月19日(金)9時30分～12時30分/**会場**：消防本部多目的ホール(野幌代々木町80-8) /**内容**：講義→応急手当の重要性と必要性 実技→成人に対する心肺蘇生法、AEDの取り扱い、異物除去法、止血法。
*資器材を共有しますので、発熱やかぜの症状などで体調不良の方

は、実技講習に参加できない場合もあります/**対象**：市内に在住、在勤、在学の10歳以上の方/**申込**：9月7日(金)から電話で消防署救急課救急係(☎382-5465)へ。先着30名。申し込みは事前の電話のみ/**その他**：修了証交付などのため、氏名、生年月日、住所、電話番号をお聞きます。/**詳細**：申込先へ。

江別市民救急医療教室

救急の日に合わせ、講演とAED、心肺蘇生法の実技指導などを行います。参加無料。

日時：9月8日(土)10時～12時30分
会場：消防本部多目的ホール(野幌代々木町80-8) /**詳細**：消防本部(☎382-5431)、健康福祉部地域医療担当(☎385-4600)

赤十字救急法講習会

急病、けがの手当などについて正しい知識や技術を学びます。参加無料。

日時：9月26日(水)14時～16時/**会場**：江別市総合社会福祉センター(錦町14-87) /**申込**：9月21日(金)までに日本赤十字社江別市地区事務局(市福祉課地域福祉係☎381-1031)へ電話。先着20名/**詳細**：申込先へ。



救急課 救急救命士
ひもり あつし
檜森 敦司さん

救命率上昇には、応急手当が不可欠です。

現場に救急車が到着するまでには平均で約8分かかります。その間、応急手当があれば救命率がぐっと上がってきます。事前に救命講習を受けていればとっさの対応もできますし、救急救命は決して難しくはないので、ぜひ皆さんも講習会に参加してみてください。

事前の準備が大切

防災・防火訓練

第17回 防火ふれあい大麻

濃煙体験、水消火器や消防ポンプによる消火体験、梯子車の搭乗体験、救助ロープ渡り、応急手当、消防車両展示、消防団PRや消防遺産の展示のほか、今回は、天ぷら油の燃焼実験を行います。お楽しみ抽選会もあります。なお、駐車場がありませんので、車での来場はご遠慮ください。参加希望者は当日直接会場へ。
日時：9月15日(土)14時～16時(雨天時は規模を縮小して実施) /**会場**：消防署大麻出張所(大麻元町192) /**詳細**：消防署大麻出張所(☎386-8333)

江別市避難所運営訓練

災害時の避難所運営訓練を行います。昨年度は、非常用の食事の炊き出し、段ボールハウスの作成と宿泊などを行いました。参加・見学が可能です(人数制限有り)。
日時：9月21日(金)15時～9月22日(土)10時/**会場**：大麻西地区センター(大麻沢町26-2) /**主催**：大麻第一住区自治連合会・江別市
その他：初日のみ、宿泊を伴う両日、二日目のみなど参加方法は選択可能です。参加方法に適した服装・準備をお願いします。

江別市防災訓練

震度6弱の地震を想定して、江別市消防本部および近隣消防機関と警察等関係機関の連携による消防訓練や応急救護、初期消火、降雨体験車などの防災訓練を実施します。消防訓練の見学、防災訓練の参加をすることが出来ます。参加無料。
日時：9月29日(土)10時～12時30分/**会場**：北海道消防学校(中央町16-1) /**その他**：訓練に適した服装、日射病対策や飲み物などを持参してください。

「江別市避難所運営訓練」は9月10日(月)、「江別市防災訓練」は9月21日(金)までに総務課危機対策・防災担当(☎381-1407、FAX 381-1070、E-mail: kikitaisaku@city.ebetsu.lg.jp)へ申し込み。